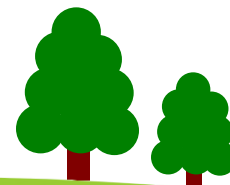


木質バイオマスエネルギー利用推進セミナー

平成26年度 木質バイオマス利用支援構築事業 成果報告会

相談・サポート体制の確立支援 成果報告

平成27年3月12日



◎相談・サポート体制の確立支援事業(主な事業内容)

(1) 相談窓口の体制整備

- ①ヘルプデスク(相談窓口)の設置
- ②相談受付担当者の常駐
- ③問い合わせフォームの作成

(2) 相談窓口のPR

- ①ホームページの開設
- ②相談窓口のPRパンフレットの作成
- ③出張セミナーの開催

(3) 相談窓口によるソリューション提供

- ①専門委員会による助言と技術交流
- ②技術者の派遣
- ③木質バイオマス関連施設の導入サポート資料の作成
- ④FAQの作成

◎ヘルプデスク(相談窓口)

木質バイオマス利用による発電や熱供給の振興を推進する「木質バイオマスエネルギー利用推進協議会」内に相談窓口を設置



- ・木質バイオマス利用における専門的な知見・ノウハウによる対応が可能
- ・協議会会員の持つ技術・経験、ネットワークを活かしたサポート体制を構築

相談内容に応じて、

- ・技術者派遣を現地派遣
- ・事務所にて、面談によるヒアリング
- ・木質バイオマス利用推進協議会会員との連携により、専門的なアドバイス等、相談者のニーズにあった体制で、木質バイオマス利用導入を支援

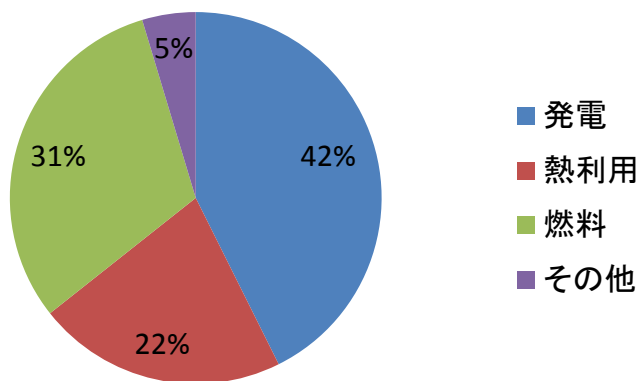
○事務所でも、相談者からの直接面談を無料で実施

◎ヘルプデスク(相談窓口) 窓口実績

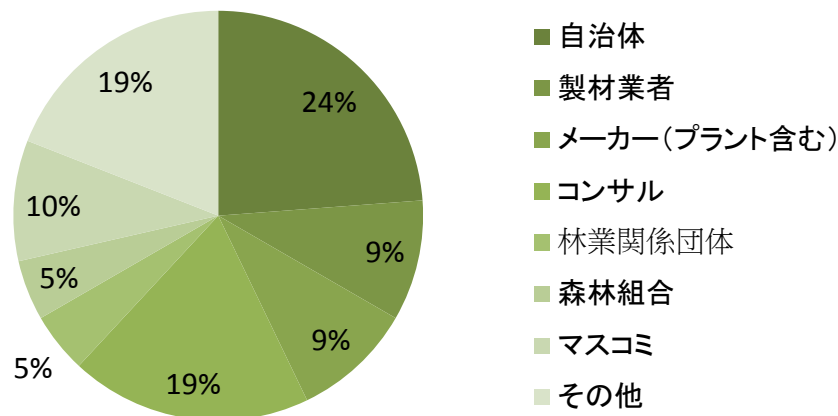
☆ 問合せ内訳(192件) (H26年4月1日～H26年1月30日)

- 問い合わせ内容は、昨年度に比べ、「発電利用」「燃料供給」に関する問い合わせが増加
発電利用(36%(昨年度末) → 42%) 燃料供給(28%(昨年度末) → 31%)
- 問い合わせ業種は昨年同様、自治体が最も多いが、比率は減少。(35%→24%)
- 一方で、その他の民間事業者からの問い合わせが増加。
→ 特に、コンサルティング会社からの問い合わせが急増

問い合わせ内容(重複含む)



問い合わせ業種(重複含む)



※ヘルプデスクに寄せられた電話・メール・事務所での相談対応・現地視察の件数すべてを含む件数

◎ヘルプデスク(相談窓口) 窓口実績

【主な問い合わせ内容(抜粋)】

- 木質バイオマス施設導入にあたって、**利用可能な助成制度**を教えてください。
- 木質バイオマス発電で、**FIT認定を受けている施設が全国にどの程度あるのか**教えてください。
合わせて、どのような地域なら、木質バイオマス発電ができそうか、教えてください。
- 小規模の木質バイオマス発電施設導入を検討しているが、**メーカーの動向や近年の状況**を教えてください。また、**導入費用や採算性**についても、教えてください。
- 木質バイオマス発電の利活用施設の建設に向けて、実現可能性調査を実施する予定であるが、**コンサルタントを紹介**して欲しい。
- **海外から木質バイオマス燃料を輸入**したいので、相談に乗ってほしい。
- 木質バイオマスボイラー導入を検討している。**具体的な事例や導入に関する情報**をいただきたい。
- 県内の木質バイオマス関係者のレベルアップを図るため、**セミナーの講師**をお願いしたい。
- 木質バイオマス発電施設の**視察に適した施設**、地域を紹介して欲しい。

◎ヘルプデスク(相談窓口) 昨年度との比較・分析

【主な問い合わせ内容(抜粋)】

□ 発電を行いたいと考える方からの問い合わせが増加

- 特に、林業関係の事業とは異なる事業(廃棄物処理、コンサルティング、その他業種、個人等)からの問い合わせが増加
- 問い合わせ内容は、
 - ・木質バイオマス発電の現状、事業可能性に関して
 - ・ボイラーメーカー、コンサルティング会社に関する問い合わせ
 - ・森林資源の収集方法、相談先の紹介のお願い など

⇒固定価格買取制度にて、太陽光発電が一段落つき、再生可能エネルギー利用の次の出資先として、他の再エネ利用と比較して、開発時期が短いこともあり、相談案件が増加。

□ マスコミからの問い合わせの増加

- 問い合わせ内容としては
 - ・木質バイオマス発電の現状に関して
 - ・国内における供給体制に関して
 - ・将来性や現状の課題に関して

⇒2015年から本格的に木質バイオマス発電が増加することに伴い、現在の林業の状況への関心が増大している。

(新聞やネットニュースにおける「木質バイオマス」報道量は、同時期の2~3倍増に)

⇒太陽光発電と同じく、木質バイオマス発電に対する課題を追求しようとする姿勢がみられる。

◎木質バイオマスエネルギー利活用セミナーの開催

○全国でセミナーを開催

【開催概要】

◎全国5ヶ所で開催

地域	日時	会場	主催	参加者数
北海道	平成26年11月21日	北海道旭川市	木質バイオマスエネルギー 利用推進協議会	90名
中部	平成26年11月14日	愛知県名古屋市	木質バイオマスエネルギー 利用推進協議会	65名
近畿	平成26年11月25日	大阪府大阪市	大阪府・木質バイオマス エネルギー利用推進協議会	65名
中国	平成26年7月28日	鳥取県米子市	鳥取県・木質バイオマス エネルギー利用推進協議会	25名
九州	平成26年12月1日	熊本県熊本市	木質バイオマスエネルギー 利用推進協議会	45名

◎木質バイオマスエネルギー利活用セミナーの開催

○講演内容、および、講演者紹介

【北海道】

「木質エネルギー利用を魅力あるものに ー課題と展望ー」 沢辺 攻

沢辺 攻 木質バイオマスエネルギー利用推進協議会 幹事／岩手大学 名誉教授

「木質バイオマス熱利用の現状と課題」

斎藤 清司 木質バイオマスエネルギー利用推進協議会 専門委員／(株)タクマ 顧問

【中部】

「木質バイオマスによる小規模分散型熱電併給システムについて」

熊崎 実 木質バイオマスエネルギー利用推進協議会 会長／筑波大学 名誉教授

「地域主導の木質バイオマスコジェネレーションの展開」

久木 裕 (株)バイオマスアグリゲーション 代表取締役

【近畿】

「木質バイオマス発電の現状と課題」

藤井 重雄 木質バイオマスエネルギー利用推進協議会 専門委員／藤井技術士事務所 所長

「地域主導の木質バイオマス導入に向けて ー熱利用の観点から考えるー」

斎藤 清司 木質バイオマスエネルギー利用推進協議会 専門委員／(株)タクマ 顧問

【中国】

「魅力ある木質エネルギー利用に向けて ー課題と展望ー」

沢辺 攻 木質バイオマスエネルギー利用推進協議会 幹事／岩手大学 名誉教授

【九州】

「木質バイオマスによる小規模分散型熱電併給システムについて」

熊崎 実 木質バイオマスエネルギー利用推進協議会 会長／筑波大学 名誉教授

「木質バイオマス利用と森林・林業」

株式会社森のエネルギー研究所 佐藤 政宗

※講演内容は、ホームページ掲載にて予定

◎木質バイオマスエネルギー利活用セミナーの開催

○利活用セミナー来場者の反応

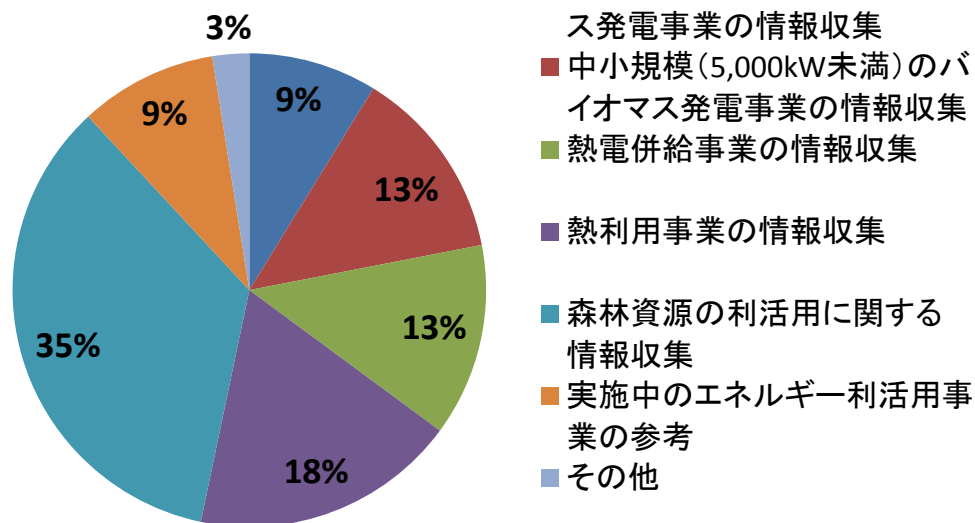
- 参加者からのアンケートを実施。(参加者の6割以上が回答)
- 発電や熱利用よりも、森林資源の利活用の検討を目的としている参加者が多かった。

→ 森林資源をマテリアル、エネルギーなど、どのような形で利用するのが最も有効かを検討するため、参加する方が多かったとの見方ができる。

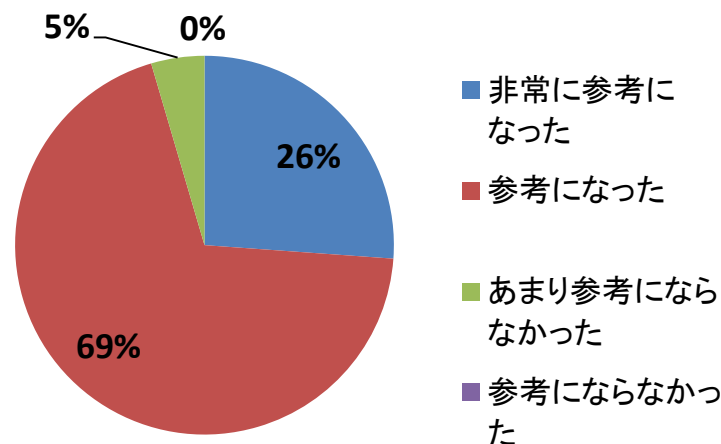
- セミナー満足度は95%以上。

→ セミナーに対するニーズは高く、総じて好評。継続性を求める声も多数だった。

セミナーの参加理由



セミナーの感想



◎専門家の派遣

【イメージ】



相談者

①ヘルプデスクへ技術者派遣依頼



相談・サポート
ヘルプデスク

②相談者へのヒアリング

④技術者によるアドバイス・技術支援

※ヘルプデスクメンバーも同行

⑤アフターフォロー

③依頼内容、及びヒアリング内容に応じて、派遣する技術者を選定



技術者

【メリット】

- ・問い合わせに応じた技術支援が可能
- ・支援後のアフターフォローを受けられる

◎専門家の派遣による具体事例（高知県津野町）

昨年度の木質バイオマス利活用セミナーに参加し、地域内での木質バイオマス利活用の検討のため、協議会に相談

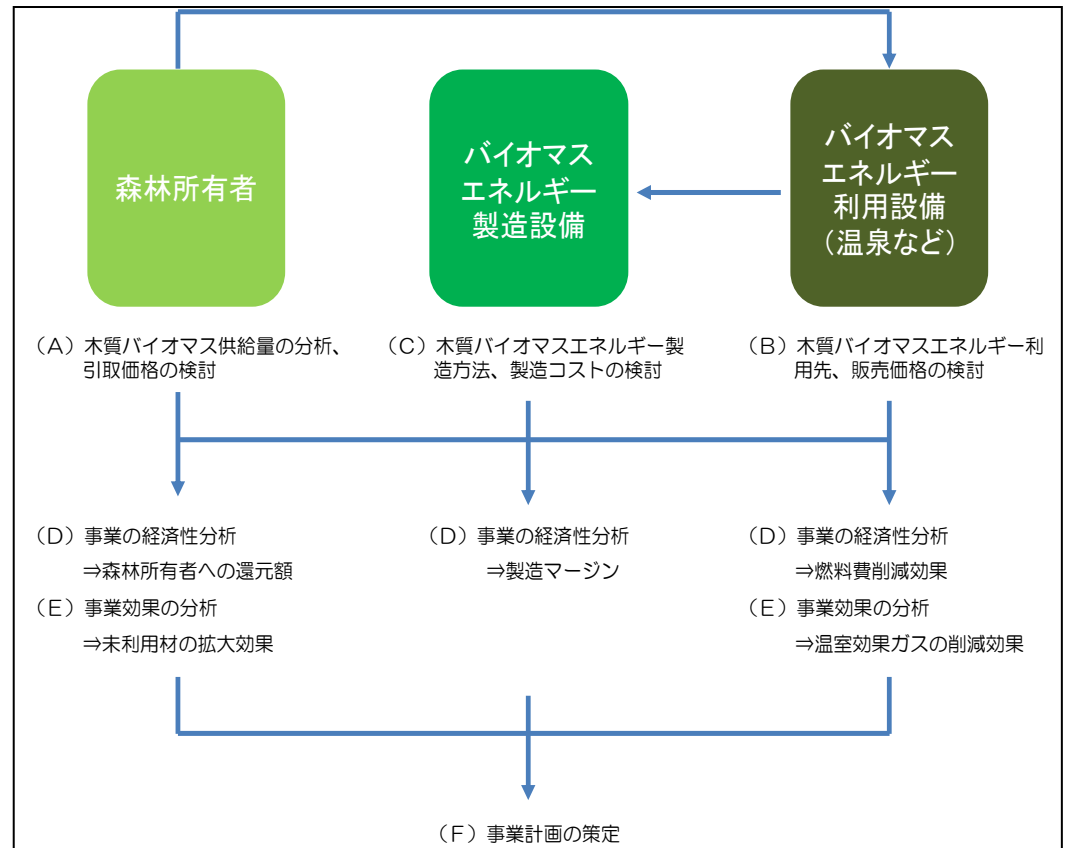


今年度、改めて、協議会に、木質バイオマスの熱利用に関する利用可能性調査を依頼。



協議会からの木質バイオマス利用可能性調査結果より、来年度以降、木質バイオマス熱利用の導入を進めることになった。

○津野町における木質バイオマス利用可能性調査



ご清聴ありがとうございました。

木質バイオマスエネルギー利用推進協議会